

公共事業のあるべき姿考える

中村建設 「三方良し」でフォーラム

中村建設(中村光良代表取締役)は29日、奈良市の奈良ロイヤルホテルで「～人と人をつなぐ～Communication Forum 2013」を開いた。昨年までの「Safety Forum(安全大会)」に代わるもので、同社が所属する全国建設青年会議などが取り組んでいる「三方良しの公共事業改革推進カンファレンス」の地元展開初弾として、公共事業のあるべき姿を参加者とともに考えた。

当日は同社の役職員、協力業者ら約200人が参加した。冒頭のあいさつで中村代表取締役は「『三方良し』の考え方を奈良にも広げ



中村社長

考え、視点をしっかりと持つことが欠かせない」と述べた。

この後、安全協力会会長の森村彰博森村設備代表取締役も「コミュニケーションは安全管理活動を

ていきたい。安全、品質、環境についての対応は当たり前前の時代だが、当たり前前のことだけをやっている限り、建設業の信頼は回復できないという

始め、現場運営やコスト管理にもかかわってくる大切なことなので、きょう1日しっかりと勉強していただきたい」と呼び掛けた。

フォーラムの第1部では、三方良し推進研究会の熊谷一男理事が基調講演を行い、同研究会が推進している『「住民良し」「企業良し」「行政良し」の三方良しの公共事業改革』について、事例を交えながら解説した。

第2部では同社のほか、宮崎県の第一建設、新潟県の小野組、高知県の磯部組などによる事例発表があった。

第3部では代表者によるパネルディスカッションを行い、公共事業のあるべき姿について意見を交換した。終了後は懇親会を催し、和やかに歓談した。

